

利用者の声（令和7年度）



溶接ものづくり科

ポリテクセンターを受講する事になったきっかけ

- 知人の紹介。
- 父の介護で福祉車両の送迎に苦勞した経験からこれからの高齡化社会、福祉車両の製造に携わりたいと考え溶接技術の習得を決めました。
- 就職活動にプラスになればと思い、自分自身のスキルアップのため。
- 一つでも多くの資格や溶接知識を学びたく受講した。

訓練を通じて感じたこと

- くっつけばいいだけではなく、完全溶け込み溶接などを学びました。
- 安全について深く学びました。
- 時間と多くの数をこなさなければならないと感じた。
- 一点集中、電流・電圧調整、知識により多くの経験が必要と感じた。
- 溶接は奥深い。
- 実技を通して溶接の難しさを知った。

今後の就職について

- ポリテクセンターで身に付けた技術が大きく活躍させます。
- 即戦力として仕事に就くことの難しさを実感した。多少たりとも訓練で培ってきた技術を活かせるようにアピールしていきたい。
- 就職活動に活かされたら良いと思う。
- 現場ではまず安全第一を心掛け、慌てることなくポリテクで学んだことを1つ1つ理解しながら活かしていきたい。

指導員からのコメント

溶接ものづくり科は、『金属と金属の分子レベルでの結合である溶接加工技術』を学び身に付け、仕事にできることを主としております。しかし、鉄工所などの金属のものづくり製造業や建設業では金属の接合のみならず『削る・切る・折り曲げる』などの加工も学ばなければ、関連就職先で活躍することができません。その為、異業種から溶接関連の就職先に転職する方にとって、その不安を取り除けるような実践的な知識や技能をわかりやすく身に付行けていただきたいと考えております。